学校番号	3017

令和８年度　ガイダンス科

教科	ガイダンス	科目	キャリアガイダンス	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	本校で作成した冊子						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

キャリアガイダンスの科目は、入学してから専門的な学びや経験を積み重ねることで，自らの興味・関心を理解しながらそれらを深めるキャリア形成の一環として設定されています。自己分析のツールや系・専科のことを研究することで、２年生で所属する系・専科の選択や資格・検定の取得計画、卒業後の進路決定までのロードマップを考える機会としていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

系・専科で学習することや工業に関する資格・検定等に関する情報を調査することで、進路選択に必要な知識を得る。また、卒業後の進路先について必要な知識・技能を学ぶことで、自らのキャリア形成の手段を身につけていく。

【思考力、判断力、表現力等】

自らのキャリアを研究する中で自己理解を深め、工科高校で学びたいこと経験したいことについて考えることができる。また、卒業後までの進路について計画をし、具体的なキャリア形成の手段について表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

自らのキャリア形成において積極的に情報を得ようとする姿勢をもち、進路実現に向けて課題発見と解決を繰り返しながら、主体的かつ協働的に諸活動に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工科高校で学習することや職業に関する知識・技能、進学の分野等についての知識が十分に身についている。また、自己分析のツール等を用いて、自身の興味・関心を理解し、適切な進路選択のための調査・研究することができる。	キャリア形成のための調査・研究をとおして、学習を深めたい専門分野の選択や将来実現したい進路について表現することができる。また、進路実現のための課題を発見・解決しながら、より具体的なプランを検討することができる。	進路実現に必要な情報を積極的に調査・研究し、課題発見と解決を繰り返しながら主体的かつ協働的にキャリアを形成していこうと学習に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自己分析・自校学習	○ジョハリの窓 ○自己分析 ○系・専科の調べ学習 ○卒業生講話 ○振り返り	a. 自己分析ツールの利用法を身につけ、自身とらえている「自己」と他者から見た「自己」の両面を理解できる。 b. 自身の興味・関心をもとに系・専科の選択意義や学習したい内容について表現できる。 c. 自己や他者の理解を深めようとする姿勢が顕著であり、主体的かつ協働的に諸活動に取り組むことができる。	自己分析ワークシート 系専科調査ワーク	調べ学習の成果物 振り返りシート	授業の取組み状況観察
2学期	情報の収集と比較検討	○調べたことをまとめる ○プレゼンシートの作成 ○発表 ○価値観の数値化 ○系選択のものさし ○系選択宣言	a. 発表のための資料のまとめ方や表現手法を身につけている。また、意思決定のための分析手法を用いて、自身の客観的な評価を理解できる。 b. 質的・量的な観点をバランスよく配置し、他者に伝えたいことを適切に表現することができる。 c. 系選択のために自身を深く理解しようとする姿勢がみられ、試行錯誤しながら自己実現に向かおうと課題に取り組むことができる。	プレゼンシートの作成 AHP 分析の理解	データの表現方法 発表	授業の取組み状況観察
3学期	進路実現に向けて	○進路ガイダンス準備 ○進路ガイダンス ○振り返り ○仕事の理解 ○進路アンケート	a. より具体的な進路選択のための情報にアクセスすることができる。また、その先の進路決定のために必要な手段を知ることができている。 b. 進路実現に必要な経験をより具体的に選択することができる。また、経験したことを整理し、進路の観点から適切に表現することができる。 c. より深く自己実現をめざし、主体的に自身のキャリア形成に取り組む姿勢が顕著である。	職業に関する理解 勤労に関する理解 進路アンケート	振り返りシート 進路アンケート	授業の取組み状況観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度